

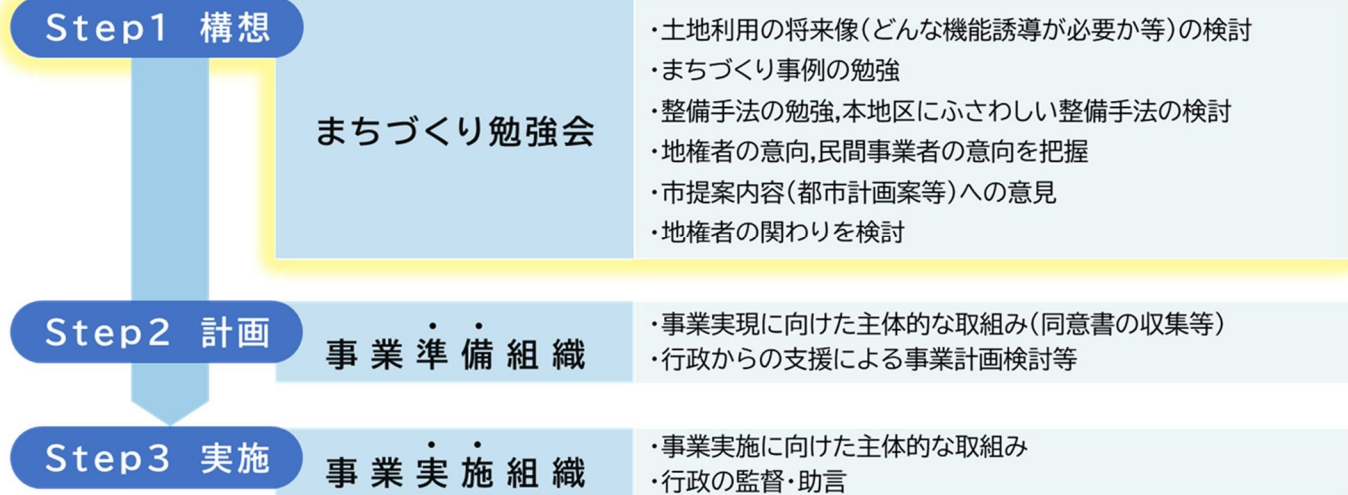
■まちづくり勉強会について

1. 次年度以降の流れ

次年度は、組織化の第一歩として勉強会を想定しています。

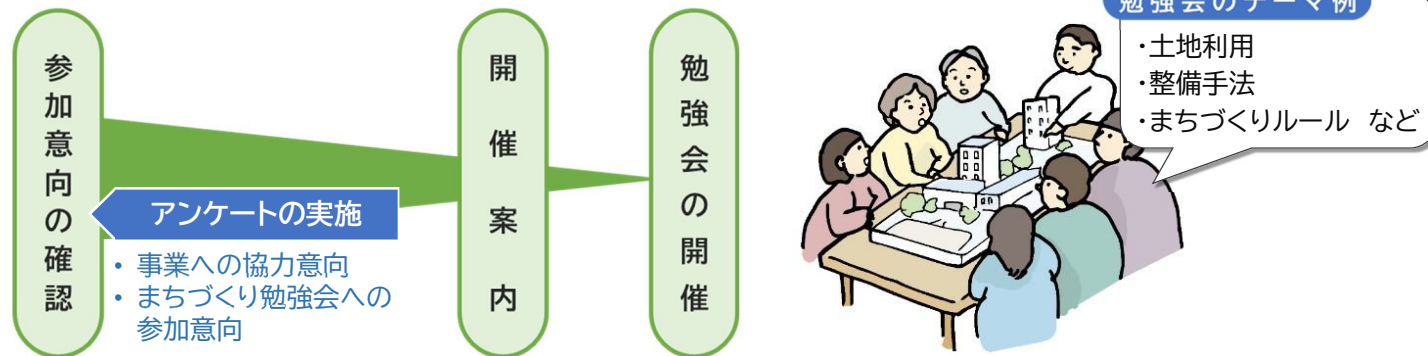
西国分寺駅北口駅前エリアの整備の実現に向けては、市と地権者の皆さまと一緒に進めていく必要があります。

しかしながら、地権者の皆さま全員が参加するのは現実的には難しいため、中心となって検討を行っていく組織が必要となります。



2. まちづくり勉強会の開催に向けて

まちづくり勉強会の開催に向けては、現在想定している西国分寺駅北口駅前エリアの方を対象に、まちづくり勉強会の参加意向等を確認させていただくアンケート調査の実施を予定しています。勉強会では地権者の皆さまと西国分寺駅北口の整備実現に向けた具体的なテーマを取上げて議論していきたいと考えています。



※まちづくりの専門家や事業者などを交えて検討を深めていきます。市も一権利者として都市基盤や都市計画の検討を進めつつ、地権者組織のサポートをしていきます。

- ◎ 西国分寺駅北口周辺整備に関する情報を、市のホームページで紹介しています。トップページのページ番号検索で【1027608】と入力して検索してください。
- ◎ また、右記の二次元コードからもアクセスできます。



発行/国分寺市 まちづくり部 駅周辺整備課

住所: 〒185-0012 国分寺市本町 4-1-9 本町クリスタルビル 4階

電話番号: 042-323-9190 ファクス番号: 042-323-9060

E-mail: ekiseibi@city.kokubunji.tokyo.jp

2024. 3
News

No.24

西国分寺駅北口周辺 まちづくりニュース

国分寺市 まちづくり部 駅周辺整備課

駅前エリアの整備の実現に向けた 意見交換会を実施しました!

令和6年2月14(水)と2月18日(日)に西国分寺駅北口駅前エリアの整備の実現に向けた意見交換会を土地・建物を所有する方々を対象に開催しました。

2日間で、延べ26名の方にご参加いただきました。今回の意見交換会では、土地利用(道路ネットワーク)の検討状況、次年度以降の組織化などを説明し、皆さまからご意見をいただきました。

なお、当日のご意見、資料につきましては、市のホームページでご覧いただけます。

今後につきましては、西国分寺駅北口駅前エリアに土地・建物を所有する方を対象にまちづくり勉強会など個別にご意見を伺う機会や、皆さま方が意見交換できる機会を増やしていけるような取組を進めていきたいと考えています。また、検討の進捗等をご報告する場として、引き続き意見交換会を開催していく予定です。

開催にあたっては、駅前エリアに土地・建物を所有する方々を対象に改めてお知らせいたします。引き続き、西国分寺駅北口駅前エリアの整備の実現に向けて、ご理解ご協力をお願い申し上げます。



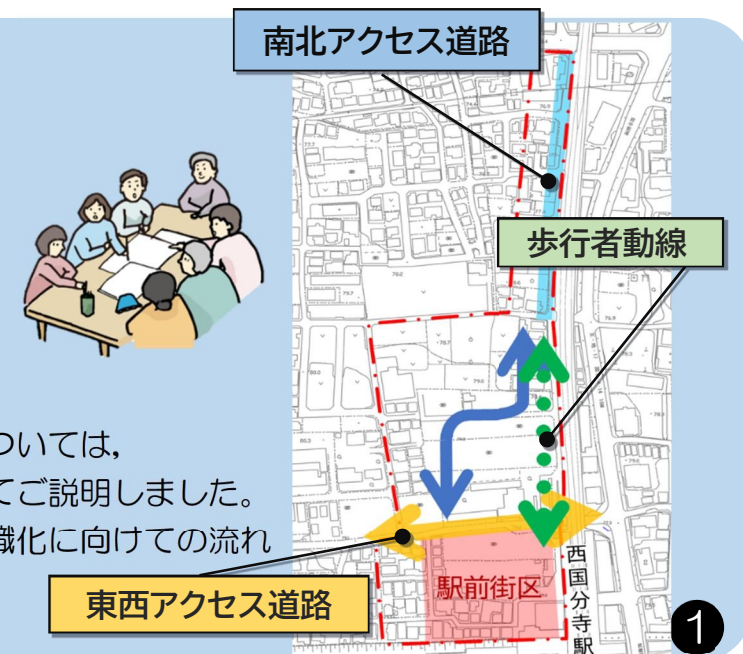
意見交換会での報告概要

■次第

1. 前回意見交換会のふりかえり
2. 土地利用(道路ネットワーク)の検討案
3. 今後のまちづくりの進め方
4. 今後の取組・スケジュール

■概要

土地利用(道路ネットワーク)の検討案については、整備の実現に向けた検討の進捗状況についてご説明しました。また、今後のまちづくりの進め方では、組織化に向けての流れについてご説明しました。



整備の実現に向けた検討状況

第6回の意見交換会では、土地利用（道路ネットワーク）に関する検討状況について皆さまにご報告しました。検討に当たっては、下記、前提条件に基づき進めています。

検討の前提条件

- 共通**
- 歩行者・自転車・自動車交通量
 - 地形
 - 関係機関との協議
 - 道路構造令（技術基準）



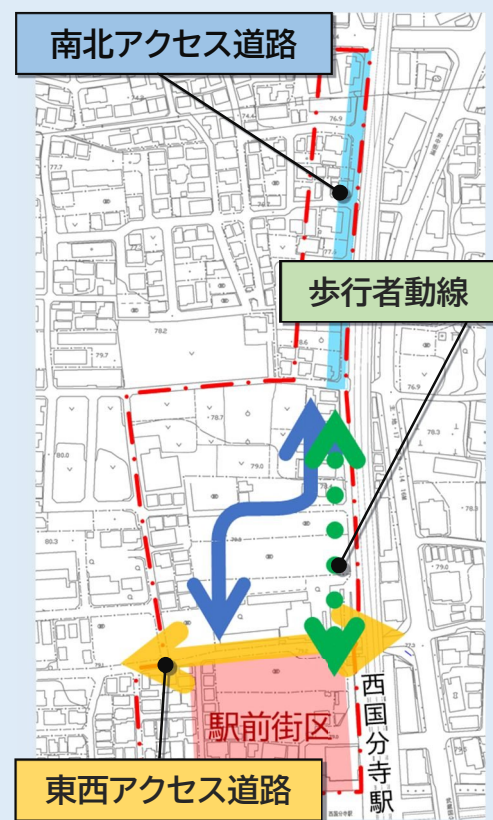
- 南北アクセス**
- 既存住宅への影響範囲
 - 交通広場との接続位置



- 歩行者動線**
- 駅へのアクセス性
 - バリアフリー



▼ 検討内容

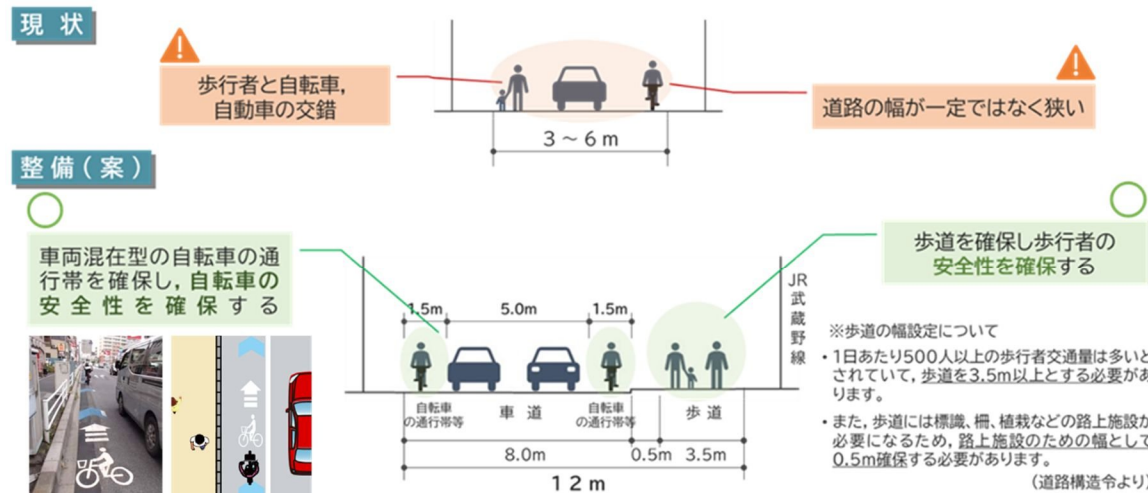


○ 南北アクセス道路の検討

歩行者、自転車、自動車の動線を明確にすることで、安全に通行ができる生活道路としての役割を確保しつつ、緊急車両も円滑に通行することができる道路として検討をしています。

道路の幅員・断面構成の検討

現状は、道路の幅員が3~6mとばらつきのある道路であり、歩行者通行量も多いため、歩行者、自転車、自動車の交錯が課題となります。
整備（案）では、片側に歩道を設け、歩車分離を図り歩行者の安全に配慮した幅員12mの道路とする計画を考えています。



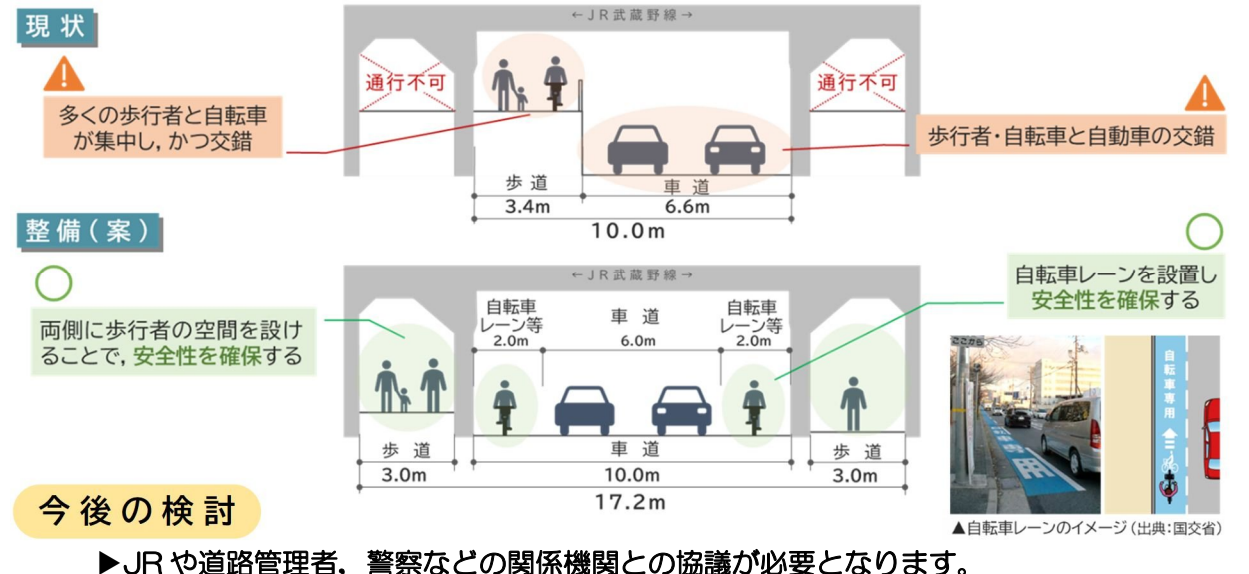
▲自転車の通行帯のイメージ（出典：国土省）

○ 東西アクセス道路の検討

歩行者の安全性を確保しつつ、府中街道から駅前街区へ集中する交通を処理する道路として検討をしています。

道路の幅員・断面構成の検討

交通量調査の結果からも、現状は、歩行者、自転車、自動車の交錯が課題となります。
整備（案）では、現状通行できない部分を歩道とし、車道部分には自転車レーンを確保することで、道路の幅員を17.2m確保する計画を考えています。



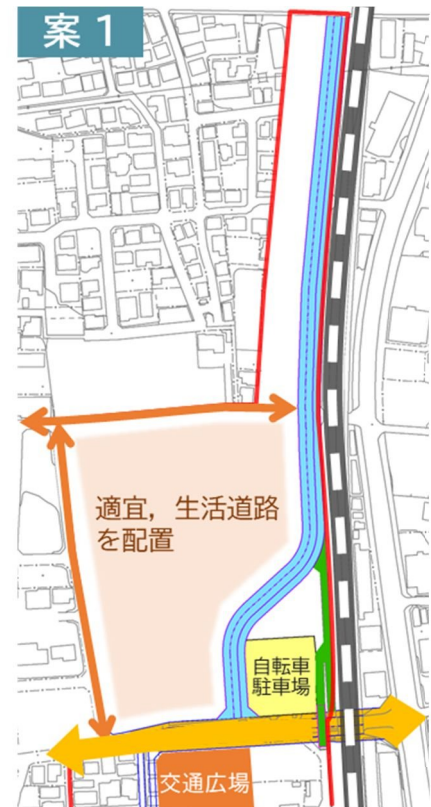
ルートの検討

駅前街区の東側に接続する「案1」と、西側に接続する「案2」が考えられます。

案によって、道路沿いの土地の規模や使われ方などが変わるため、ルート決定には地権者の方々の意向を踏まえながら検討を行う必要があります。

今後の検討

- ▶自転車駐車場への安全なアクセス動線
人と自転車が交錯しない安全な計画として検討を進めます。
- ▶交通広場への出入口との接続
自動車の動線を明確にし、安全に交通広場への出入りができる計画として検討を進めます。
- ▶土地利用の意向
皆さまの意向を踏まえた土地利用のしやすい計画として検討を進めます。



○ 歩行者動線の検討

歩行者の安全性を確保しつつ、最短で駅にアクセスできる動線となるように検討しています。

動線の検討

現状と同じく、歩道橋を渡り駅にアクセスします。また、エレベーターを両側に設置し、すべての方々が円滑に移動できる動線となるような検討をしています。

